

都市再生整備計画 モニタリングシート
安倍川駅周辺地区

平成25年3月
静岡県静岡市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	安倍川駅周辺地区		面積	200ha		
交付期間	平成23～27年度		事後評価実施予定時期	平成27年度	モニタリング実施時期	平成25年度		交付対象事業費	3,750百万円	国費率	0.35	
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	【道路】JR安倍川駅西口駅前広場整備事業 【公園】丸子新田公園整備事業 【地域生活基盤施設】安倍川駅西口駐輪場整備事業				「JR安倍川駅西口駅前広場整備事業」に遅れが生じており、計画期間中に完了しない恐れがある。その他の事業については順調に進捗している。					
		提案事業	【地域創造支援事業】JR安倍川駅橋上駅舎整備事業 【まちづくり活動推進事業】まちづくり活動支援事業				順調に進捗している。					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路				事業内容の精査により、位置付け方を区分する必要性が生じたため。		整備内容毎に位置づける事業を適切なものに変更したことによる削除であるため、目標や指標に対して影響はない。			
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業	①【道路】寺田鎌田土地区画32号線整備事業 ②【道路】みずほ四・五丁目1号線整備事業 ③【道路】安倍川駅西口歩行者専用道路整備事業 ④【道路】JR安倍川駅東西自由通路整備事業 ⑤【高質空間形成施設】JR安倍川駅公衆トイレ整備事業 ⑥【高次都市施設】JR安倍川駅連絡通路整備事業				①～③: 駅へのアクセシビリティの向上、バリアフリー化の推進を図るため。 ④～⑥: 【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路の位置付け方を区分したため。		①～③: 各指標に対して、影響はあるものの数値の増減に対しての影響は微細であるため、指標及び数値目標は据え置く。 ④～⑥: 当初予定していた「【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路」の位置付け方の変更による追加であるため、目標や指標に対して影響はない。			
交付期間の変更	当初変更	平成 23～ 27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	モニタリング		目標	総合所見		今後の対応方針	
	指標1	安倍川駅の乗客数	人/日	4,395	H21	4,560	H27	4,508	H24	あり なし	● 人口等の関係によって、従前値よりも数値が伸びているものの、まだ事業中であるため、事業による効果は現れていない。	駅の利便性及びアクセシビリティの向上に係る事業を円滑に進め、駅の利用促進、特にこれまで駅を利用したくてもできなかった方の利用を促す。
	指標2	バリアフリー化に対する満足度	%	2	H22	55	H27	3	H25	あり なし	● 一部事業の進捗により効果が出始めているものの、まだ事業中のものがほとんどであり、目に見えた効果は現れていない。	バリアフリー化に係る事業を円滑に進め、課題となっている駅施設の改善等を行うことで、満足度の向上を図る。
	指標3	まちの住みやすさに対する満足度	%	37	H22	45	H27	49	H25	あり なし	● 既に目標値を達成しているが、まだ事業中であるため、効果は現れていない。数値の伸びは、アンケート調査を従前値の時よりも駅に近いエリアに絞った範囲で行ったことによる影響が大きいと考えられる。	地区の住みやすさの向上に係る事業を円滑に進め、駅周辺地区全体での満足度の向上を図る。
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	モニタリング		目標	総合所見		今後の対応方針	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 安倍川駅周辺整備に関するパンフレットを作成・配布したことにより、事業に対する住民の期待や認知が高まっている。 (仮称)丸子新田公園ワークショップの実施により、住民の公園に対する期待が高まること共に公園愛護会の立ち上げや公園の名称を市民参加で決めることへの希望も挙げられ、住民の意識向上につながった。 市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開され、今後の事業推進にあたっての連携体制が強化された。 											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	平成25年度に指標の達成状況の計測と庁内組織による検討を実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	計画期間中に完了しない恐れがある事業の事業期間の変更など、必要な計画変更を行う。		
	住民参加プロセス	①(仮称)丸子新田公園ワークショップの開催 ⇒平成24年1月27日、2月17日、3月6日(計3回) ②継続的なまちづくりに関する検討			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●(①)	①検討内容を踏まえた公園整備と、公園の維持管理への住民参加を促進する。		
持続的なまちづくり体制の構築	継続的な市民まちづくり活動を実施できる体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●(②)	②ワークショップを開催し、住民参加によるまちづくりの推進を図る。			
6)モニタリングの所見	総合所見	順調	「JR安倍川駅西口駅前広場整備事業」及び関連事業の「交通結節点改善事業」について、本モニタリングにおける推計結果から、仮に2つの事業が計画期間中に完了しなかったとしても目標値の達成が見込まれた。このことから、事業の延伸に伴う大幅な改善・変更は必要ないものの、事業期間の変更など細かな変更が必要となる。				今後の事業の改善点		各事業の円滑な進捗を図ると共に「JR安倍川駅西口駅前広場整備事業」及び関連事業の「交通結節点改善事業」については、事業完了時期に目途がついた段階で、必要に応じて計画に位置づけた事業期間や事業費の変更などを行うと共に、計画期間後(平成28年度以降)に整備する部分については、第2期の計画で対応することも見据え、必要な準備を行う。			
		要改善	●									

都市再生整備計画 モニタリングシート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- ~~添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測~~
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

(4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

(5) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

(6) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他(計画区域)		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	JR安倍川駅西口駅前広場整備事業	811	A=600㎡ (H23～H27)	811	A=1,300㎡ (H23～H27)	事業内容の精査により、事業面積を変更した。	事業内容の精査による変更であるため、目標や指標に対して影響はない。		●		事業の遅れにより、計画期間中に完了しない恐れがある。
	寺田鎌田土地区画32号線整備事業	-	-	47	L=250m (H24～H27)	公共施設を結ぶ比較的利用頻度の高い道路に歩道を整備し、駅へのアクセス性の向上、バリアフリー化の推進を図るため、平成23年度に計画を変更し、追加した。	各指標に対して、影響はあるものの数値の増減に対しては微細であるため、指標及び数値目標は据え置く。		●		事業完了に向けて事業推進
	みずほ四・五丁目1号線整備事業	-	-	47	L=200m (H24～H27)	公共施設を結ぶ比較的利用頻度の高い道路に歩道を整備し、駅へのアクセス性の向上、バリアフリー化の推進を図るため、平成23年度に計画を変更し、追加した。	各指標に対して、影響はあるものの数値の増減に対しては微細であるため、指標及び数値目標は据え置く。		●		事業完了に向けて事業推進
	安倍川駅西口歩行者専用道路整備事業	-	-	55	L=21.5m (H25～H27)	西口駅前広場につながる歩行者専用道路を整備し、駅へのアクセス性の向上、バリアフリー化の推進を図るため、平成24年度に計画を変更し、追加した。	各指標に対して、影響はあるものの数値の増減に対しての影響は微細であるため、指標及び数値目標は据え置く。		●		事業完了に向けて事業推進
	JR安倍川駅東西自由通路整備事業	-	-	598	L=85m (H24～H27)	「高次都市施設(東西自由通路)」の自由通路部分の位置付け方を変更する必要が生じたため、平成23年度に計画を変更し、追加した。	当初予定していた「【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路」の位置付け方の変更による追加であるため、目標や指標に対して影響はない。		●		事業完了に向けて事業推進
公園	丸子新田公園整備事業	134	A=1,091㎡ (H23～H25)	134	A=1,091㎡ (H23～H25)	-	-		●		事業完了に向けて事業推進
河川											
下水道											
駐車場有効利用システム											
地域生活基盤施設	安倍川駅西口駐輪場整備事業	160	A=744㎡ (H23～H25)	500	A=630㎡ (H23～H25)	事業箇所の変更に伴い、当初の平面駐輪場から立体駐輪場に変更する必要が生じたため、平成23年度に計画を変更し、増額した。	当初予定していた収容台数の規模を確保するための駐輪場の形式の変更であるため、目標や指標に対して影響はない。		●		事業完了に向けて事業推進
高質空間形成施設	JR安倍川駅公衆トイレ整備事業	-	-	127	A=99㎡ (H24～H27)	「高次都市施設(東西自由通路)」の公衆トイレ部分の位置付け方を変更する必要が生じたため、平成23年度に計画を変更し、追加した。	当初予定していた「【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路」の位置付け方の変更による追加であるため、目標や指標に対して影響はない。		●		事業完了に向けて事業推進
高次都市施設	JR安倍川駅東西自由通路	760	L=80m (H23～H26)	-	-	事業内容の精査により、位置付け方を区分する必要が生じたため、平成23年度に計画を変更し、削除した。	整備内容毎に位置づける事業を適切なものに変更したことによる削除であるため、目標や指標に対して影響はない。				-
	JR安倍川駅連絡通路整備事業	-	-	71	L=30m (H24～H27)	「高次都市施設(東西自由通路)」の連絡通路部分の位置付け方を変更する必要が生じたため、平成23年度に計画を変更し、追加した。	当初予定していた「【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路」の位置付け方の変更による追加であるため、目標や指標に対して影響はない。		●		事業完了に向けて事業推進
市街地再開発事業											
優良建築物等整備事業											
土地区画整理事業(都市再生)											
住宅市街地総合整備事業											

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地区再開発事業											
バリアフリー環境整備事業											
優良建築物等整備事業											
住宅市街地総合整備事業											
街なみ環境整備事業											
住宅地区改良事業等											
都心共同住宅供給事業											
公営住宅等整備											
都市再生住宅等整備											
防災街区整備事業											

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業											
事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造支援事業	JR安倍川駅橋上駅舎整備事業	1,530	A=1,060㎡ (H23～H26)	1,354	駅舎整備 (H24～H27)	事業内容の精査及び事業用地取得に不測の事態が生じたことにより、平成23年度に計画を変更し、減額及び事業期間の延伸を行った。	目標や指標に対して影響はない。		●		事業完了に向けて事業推進
事業活用調査											
まちづくり活動推進事業	まちづくり活動支援事業	15	ワークショップ等	15	ワークショップ等	-	-		●		継続的に実施中

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時		
交通結節点改善事業		みずほ東新田線	1,194	1,194	平成20～27年度	平成20～27年度	事業の遅れにより、事業期間が延伸する恐れがある。	
交通安全施設等整備事業		丸子新田広野三丁目線	1,026	-	平成20～24年度	平成20～27年度	340m整備済み	
バリアフリー基本構想重点整備地区		安倍川駅周辺地区	-	-	-	-		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		現段階での目標達成見込み		総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	実施年度	実施年度	あり	なし				
指標1	安倍川駅の乗客数	人/日	4,301	H17	4,395	H21	4,560	H27	4,508	H24	●		駅をよく利用するエリアにおける人口増加等によって、従前値よりも数値が伸びているものの、事業中であるため、効果は現れていない。	「JR安倍川駅東西自由通路整備事業」及び「JR安倍川駅橋上駅舎整備事業」を始め、安倍川駅の利便性及びアクセス性の向上に係る事業を円滑に進める。
指標2	バリアフリー化に対する満足度	%			2	H22	55	H27	3	H25	●		交通安全施設等整備事業による効果が一部始まっているものの、「JR安倍川駅東西自由通路整備事業」及び「JR安倍川駅橋上駅舎整備事業」を始め、地区のバリアフリー化に係る事業を円滑に進める。	「JR安倍川駅東西自由通路整備事業」及び「JR安倍川駅橋上駅舎整備事業」を始め、地区のバリアフリー化に係る事業を円滑に進める。
指標3	まちの住みやすさに対する満足度	%			37	H22	45	H27	49	H25	●		既に目標値を達成しているが、まだ事業中のものがほとんどであり、効果は現れていない。(モニタリングでは、事業中のなかで効果を推計するため、アンケート調査を当初の対象エリアから、駅に近いエリアに絞って行った。そのため、数値の差は調査対象エリアの住みやすさ自体の差と考えられる。)	事後評価では、従前値計測時と同じエリアを対象に調査するため、評価値がモニタリング値から下がる可能性もあり、「丸子新田公園整備事業」及び「まちづくり活動支援事業」を始めるため、地区の住みやすさの向上に係る事業を円滑に進める。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		本指標を取り上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	実施年度	実施年度					
その他の数値指標1													
その他の数値指標2													
その他の数値指標3													

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・安倍川駅周辺整備に関するパンフレットを作成・配布したことにより、事業に対する住民の認知や期待が高まっている。
 ・(仮称)丸子新田公園ワークショップの実施により、住民の公園に対する期待が高まると共に公園愛護会の立ち上げや公園の名称を市民参加で決めることへの要望も挙げられ、住民の意識向上につながった。
 ・市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開され、今後の事業推進にあたっての連携が強化された。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
指標の達成状況の計測と庁内組織による 検討	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成25年度 【実施結果】 都市再生整備計画及び個別の各事業の進捗状況の把握 市民アンケート調査の実施 目標値の達成見込みの検証	モニタリングの実施結果をもとに、計画期間中に完了しない恐れがある事業の事業期間の変更など、必要な計画変更を行う。
	予定はなかったが実施した		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
(仮称)丸子新田公園ワークショップ	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成24年1月27日、2月17日、3月6日(計3回) 【実施結果】 (仮称)丸子新田公園の整備内容についてワークショップ形式で検討を行い、構想図をまとめた。	ワークショップでの検討内容を踏まえた公園整備を行うと共に、公園完成後の管理などについても住民参加による取り組みへとつながられるよう必要な支援を行う。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
継続的なまちづくりに関する検討	予定どおり実施した	—	平成24年度に検討したプログラムに基づいて、平成25年度よりワークショップを開催し、住民参加によるまちづくりの推進を図る。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
継続的な市民まちづくり活動を実施できる体制の構築	予定どおり実施した	—	—	平成25年度に開催するワークショップ参加者を中心に、継続的にまちづくり活動を行える市民体制の構築を目指していく。
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	危機管理部長、企画部長、財政部長、市民生活部長、文化スポーツ部長、環境創造部長、福祉部長、子ども未来部長、商工部長、都市計画部長、建築部長、土木部長、道路部長、消防部長、下水道部長、教育部長	第1回：平成25年8月26日 第2回：平成25年10月8日	都市局 都市計画部 都市計画課
安倍川駅周辺地区部会 (上記推進本部の下部組織)	都市計画課、公園整備課、緑地政策課、道路保全課、市街地整備課	第1回：平成25年8月8日 第2回：平成25年11月1日	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式4-② 効果発現要因の整理

現行計画		指標の種別	指標1	指標2	指標3		
		指標名	安倍川駅の乗客数	バリアフリー化に対する満足度	まちの住みやすさに対する満足度		
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路：JR安倍川駅西口駅前広場整備事業	△	事業が完了していないことから、事業効果の発現は見られないものの、駅の利用頻度の高いエリアの人口が増加していること等によって、駅の乗客数は増加している。	△	事業が完了していないことから、事業効果の発現はほとんど見られないものの、交通安全施設等整備事業の一部の整備が完了したことから、わずかながら満足度が向上している。	△	事業が完了していないことから、事業効果の発現はほとんど見られないものの、満足度が上がっている。これは、交通安全施設等整備事業の一部の整備が完了したことや住宅地としての成熟が進んだことによる影響も一部に伺えるものの、アンケート調査を当初の対象エリアから、駅に近いエリアに絞って行ったことによる調査対象エリアの住みやすさ自体の差による影響が大きいと考えられる。
	道路：寺田鎌田土地区画32号線整備事業	△					
	道路：みずほ四・五丁目1号線整備事業	△					
	道路：JR安倍川駅東西自由通路整備事業	△					
	道路：安倍川駅西口歩行者専用道路整備事業	△					
	公園：丸子新田公園整備事業	-					
	地域生活基盤施設：安倍川駅西口駐輪場整備事業	△					
	高質空間形成施設：JR安倍川駅公衆トイレ整備事業	△					
	高次都市施設：JR安倍川駅連絡通路整備事業	△					
提案事業	地域創造支援事業：JR安倍川駅橋上駅舎整備事業	△	△	△	△	△	
	まちづくり活動推進事業：まちづくり活動支援事業	△	△	△	△	△	
関連事業	交通結節点改善事業(みずほ東新田線)	△	△	△	△	△	
	交通安全施設等整備事業	△	◎	◎	◎	◎	
	バリアフリー基本構想重点整備地区	-	-	-	-	-	

※指標改善への貢献度

◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
△：完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。

×：事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
-：評価できない。

（未着手又は事業中のため評価できない、事業と指標とに関係がないので評価できない）

今後の方針等	事業を円滑に進捗させ、誰もが利用しやすい駅施設として整備することで、既存利用者の満足度の向上や駅を利用したくてもできなかった方の利用を促すことで、さらなる乗客数の増加を図り、目標値の達成に努める。	事業を円滑に進捗させ、地区住民にとってバリアフリー化に係る最も大きな課題としてあげられている、駅施設の整備を完了させることで、大幅な満足度の向上を図り、目標値の達成に努める。	事業を円滑に進捗させ、交通の利便性や安全性の向上、新たな憩いの場の整備等を行うことで、さらなる満足度の向上を図り、目標値の達成に努める。
--------	--	---	--

(4) モニタリングの所見

添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
<p>■交通結節機能の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> JR安倍川駅が利用者の増加に対応されてない。 交通機関の乗り換えが不便。 駅へのアクセス道路の整備が遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場や西口駐輪場の用地取得が進んでいると共に事業に関するパンフレットを作成・配布したことで、住民への周知も進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安倍川駅の橋上駅舎及び自由通路の整備による駅の利便性の向上。 駅前広場や西口駐輪場などの整備による他の交通手段からの交通結節機能の向上。 駅周辺道路の整備によるアクセス性の向上。 	-
<p>■バリアフリー化の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅施設のバリアフリー化がされていない。 歩行空間のバリアフリー化がされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連事業の交通安全施設等整備事業によって、丸子新田広野三丁目線の一部で、歩道の段差の解消や勾配の緩和が図られ、バリアフリー化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安倍川駅の橋上駅舎及び自由通路の整備によるバリアフリー化された駅施設への転換。 駅周辺道路のバリアフリー化の推進。 	
<p>■居住環境のさらなる向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 街灯が少ないなど安全性に不安を感じる。 安心して憩い、遊べる場が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連事業の交通安全施設等整備事業によって、丸子新田広野三丁目線の一部で、歩行者と自転車の通行部分の分離が図られ、歩行空間の安全性が高まっている。 (仮称) 丸子新田公園ワークショップの実施によって、公園が不足している地区北部での公園整備と住民参加による管理運営に向けた機運が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺道路の整備による安全性の向上。 ワークショップでの検討内容を踏まえた(仮称) 丸子新田公園の整備と住民参加の促進。 	

添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見	今後の事業の改善点	
	具体的項目	内容
<p>順調</p> <p>計画・事業の進め方の改善が必要</p>	<p>事業の進め方の工夫</p> <p>円滑な事業の進捗</p>	<p>市役所内における横断的な事業検討体制を活かし、常に事業の進捗状況の情報共有等を行い、必要な改善を行っていけるようにすることで、円滑な進捗を図り、下記の事業期間等の見直しが必要な事業を除く全ての事業について、計画期間中の完了を目指す。</p>
<p>「JR安倍川駅西口駅前広場整備事業」及び関連事業の「交通結節点改善事業」について、本モニタリングにおける推計結果から、仮に2つの事業が計画期間中に完了しなかったとしても目標値の達成が見込まれた。このことから、事業の延伸に伴う大幅な改善・変更は必要ないものの、事業期間など細かな変更が必要となる。</p>	<p>都市再生整備計画の見直しの必要性</p> <p>事業期間等の見直し</p>	<p>「JR安倍川駅西口駅前広場整備事業」及び関連事業の「交通結節点改善事業」については、事業完了時期に目途がついた段階で、必要に応じて計画に位置づけた事業期間や事業費の変更などを行うと共に、計画期間後(平成28年度以降)に整備する部分については、第2期の計画で対応することも見据え、必要な準備を行う。(事業の延伸による目標・指標等の変更は行わない)</p>

(5) モニタリング原案の公表

添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページへの掲載	平成25年11月18日～12月18日	平成25年11月18日～12月18日	郵送、ファクシミリ送信、電子メール及び市役所都市計画課または各区役所窓口へ直接持参	都市局 都市計画部 都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページ及び窓口等で原案を公表している旨を掲載	平成25年11月1日発行 広報11月1日号	平成25年11月18日～12月18日		
説明会・ワークショップ	地区内で実施したワークショップにおいて原案を公表している旨を説明	平成25年12月7日	平成25年11月18日～12月18日		
その他	都市計画課窓口及び各区庁舎市政情報コーナーにおける閲覧	平成25年11月18日～12月18日	平成25年11月18日～12月18日		

住民の意見			なし		
-------	--	--	----	--	--

(6) 有識者からの意見聴取

添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
日詰一幸(静岡大学人文社会科学部法学科教授) 室田昌子(東京都市大学環境学部環境創生学科教授) 石上義之(技術士)	平成26年1月17日	都市局 都市計画部 都市計画課

有識者の意見	<p>「平成25年度静岡市都市再生整備計画事業評価委員会」にて意見聴取を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業効果を発揮させるためには事業を集中的に実施する必要がある、遅れている事業の原因分析が必要である。 ・パブリックコメントにおいて、意見がなかったのが残念。さらなる工夫が必要である。 ・行政による事業実施だけでなく、地域の人に関わり、参加できるようにすることが望ましい。既に取り組まれているものをさらに発展させていってほしい。 ・都市再生整備計画では、実施事業と指標による評価が一致しない場合があり、事後評価時に留意してほしい。(特に指標1) ・今後は、バリアフリー化だけでなく、ユニバーサルデザインも盛り込む必要がある。 <p>対応方針</p> <p>→地区の大きな課題となっている安倍川駅の橋上駅舎及び東西自由通路のバリアフリー化を最優先に進めると共に、今年度を実施したワークショップの成果を活かして、さらなる住民参加によるまちづくりを促進していく。</p> <p>→評価にあたっては、アンケート調査等を活用して、事業効果と指標の関係や事業外要因による影響などが検証できるようにする。</p>
--------	--

都市再生整備計画

あべかわえきしゅうへん
安倍川駅周辺地区(第4回変更)

しずおか 静岡県 しずおかし 静岡市

平成25年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	しずおか 静岡県	市町村名	しずおか 静岡市	地区名	あべかわえきしほうへん 安倍川駅周辺地区	面積	200 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

目標
 ■誰もが安心・安全・快適に暮らせる、幅広い世代に対応したまちづくり
 ・駅への円滑なアクセス環境を整備することで、交通結節機能の強化を図る
 ・バリアフリー化の推進によって、すべての人にやさしい生活環境を整備する
 ・まちの安全性の向上と地域活動の活発化によって、良好な居住環境を形成する

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 安倍川駅周辺地区は、静岡市の西部に位置し、市の中心市街地の1つである静岡駅から1駅と利便性に富んだ住宅市街地であり、良好な居住環境・立地性を有している。近年では、地区を横断する(都)丸子池田線が整備され、東西地区間のアクセス性が向上するとともに、駿河区役所長田支所、静岡徳洲会病院が開業するなど、駿河区の副次的な行政サービス拠点、交通結節点として期待されている。
 しかし、本地区の中心に位置するJR安倍川駅は課題が多く、駅前広場がないこと、アクセス道路が未整備であること、駅舎のバリアフリー化がされていないといった状況にある。これは、駅舎の建設当時(昭和60年)、駅周辺の区画整理事業が既に完了していたことから、限られた用地の中で建設されたことに起因している。また、駅の東西の住宅地は一部区画整理が行われたものの、狭小な道路が多く、交通安全の面などに不安がある。
 このような課題の改善を図るために、平成13年度より住民参加のタウンウォッチングや勉強会、住民を対象としたアンケート調査等を行ってきた。また、平成16年には、地元10町内の代表者20名による「JR安倍川駅交通環境検討会」が発足し、本格的に駅前広場や交通環境の整備方針の策定に着手し、交通環境改善計画を立ててきた。平成20年に、みずほ側のアクセス道路及び駅前広場を都市計画決定すると共に、事業推進を目指した議論を行うことを目的とし、「JR安倍川駅交通環境検討会」を「JR安倍川駅周辺整備促進協議会」に格上げするなど、住民の参画を得ながら、協働によるまちづくりを進めている。
 また、本計画策定にあたっては、地区内の町内会の会長及び副会長を対象としたまちづくり座談会を2回開催し、地区の課題・目標などについて協議を行った。

課題
 ■交通結節機能の不足
 ・JR安倍川駅が利用者の増加に対応できていない。
 ・交通機関の乗り換えが不便。
 ・駅へのアクセス道路の整備が遅れている。
 ■バリアフリー化の不足
 ・駅施設のバリアフリー化がされていない。
 ・歩行空間のバリアフリー化がされていない。
 ■居住環境のさらなる向上
 ・街灯が少ないなど安全性に不安を感じる。
 ・安心して憩い、遊べる場が不足している。

将来ビジョン(中長期)
 ■清流に抱かれた心豊かに暮らし続けられる居住地区
 (参考)
 ・第2次静岡市総合計画(H22):駿河区における主要事業の1つに「JR安倍川駅周辺整備」が位置づけられている。
 ・静岡市都市計画マスタープラン(H17)
 :駿河区の骨格を形成する拠点(地域拠点)として位置づけられ、本区の副次的な行政サービス拠点としての機能を確立するとともに周辺環境と調和した居住空間の創出を図る。
 :長田地域の重点プロジェクトとして「安倍川駅周辺整備」が位置づけられ、駅前広場の整備や駅舎及び周辺歩行空間のバリアフリー化、また自転車駐輪場等の総合的整備により、長田地区の中心的な交通結節点としての機能強化を図る。
 :土地利用誘導方針において、生活拠点商業地に位置づけられ、既存の生活利便施設を活かしながら、地域の人が集い賑わいのある商業地への誘導を図る。
 ・静岡市緑の基本計画(H18):長田北部地区が緑化重点地区に位置づけられ、身近な公園の整備、丸子川の水辺整備などを推進し、周辺の斜面地の緑を背景とした緑と水豊かな街並みづくりを進める。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
安倍川駅の乗客数	人/日	安倍川駅を利用する1日の人数	交通結節機能の強化に対する指標	4,395人/日	4,560人/日
バリアフリー化に対する満足度	%	バリアフリー化に対する住民の満足度の割合	すべての人にやさしい生活環境整備に対する指標	2%	55%
まちの住みやすさに対する満足度	%	居住環境に対する、住民の満足度の割合	良好な居住環境形成に対する指標	37%	45%

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 駅への円滑なアクセス環境を整備することで、交通結節機能の強化を図る 様々な交通手段による駅へのアクセス環境を整備・改善することによって、安倍川駅の交通結節機能の強化を図る。</p>	<p>■道路：JR安倍川駅西口駅前広場整備事業 寺田鎌田土地区画32号線整備事業 みずほ四・五丁目1号線整備事業 JR安倍川駅東西自由通路整備事業 安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業 ■地域生活基盤施設：安倍川駅西口駐輪場整備事業 ■高次都市施設：JR安倍川駅連絡通路整備事業 □JR安倍川駅橋上駅舎整備事業 ・交通結節点改善事業（関連事業） ・交通安全施設等整備事業（関連事業） ・バリアフリー基本構想（案）重点整備地区（関連事業）</p>
<p>整備方針2: バリアフリー化の推進によって、すべての人にやさしい生活環境を整備する バリアフリー化の推進を行うことによって、子供から高齢者まであらゆる年齢層や立場の人々が、安全・快適に移動・生活ができる環境を目指す。</p>	<p>■道路：JR安倍川駅西口駅前広場整備事業 寺田鎌田土地区画32号線整備事業 みずほ四・五丁目1号線整備事業 JR安倍川駅東西自由通路整備事業 安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業 ■公園：丸子新田公園整備事業 ■高質空間形成施設：JR安倍川駅公衆トイレ整備事業 ■高次都市施設：JR安倍川駅連絡通路整備事業 □JR安倍川駅橋上駅舎整備事業 ・交通結節点改善事業（関連事業） ・バリアフリー基本構想（案）重点整備地区（関連事業）</p>
<p>整備方針3: まちの安全性の向上と地域活動の活発化によって、良好な居住環境を形成する 安心・安全対策の推進と、安心して憩い・遊べる場を確保すると共に、地域活動への支援を行い、ハード・ソフトの両面から居住環境の向上を図る。</p>	<p>■道路：JR安倍川駅西口駅前広場整備事業 寺田鎌田土地区画32号線整備事業 みずほ四・五丁目1号線整備事業 JR安倍川駅東西自由通路整備事業 安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業 ■地域生活基盤施設：安倍川駅西口駐輪場整備事業 ■公園：丸子新田公園整備事業 ■高質空間形成施設：JR安倍川駅公衆トイレ整備事業 ■高次都市施設：JR安倍川駅連絡通路整備事業 □JR安倍川駅橋上駅舎整備事業 □まちづくり活動支援事業 ・交通結節点改善事業（関連事業） ・交通安全施設等整備事業（関連事業） ・バリアフリー基本構想（案）重点整備地区（関連事業）</p>
<p>その他 <市民参加によるまちづくりの取り組みについて> ・安倍川駅周辺地区において、継続的な市民まちづくり活動を実施できる体制を構築するため、平成21年度よりまちづくり座談会を開催している。その成果を受け、平成21年度以降も引き続きワークショップ等を行い、継続的なまちづくりに関する検討を行う。また、本計画のモニタリング・事後評価についても、市民参画の考え方にに基づき実施する。（□まちづくり活動支援事業）</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	3,759	交付限度額	1327.7	国費率	0.353
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	3,475.5	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	1227.566		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	283.5	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	100.134		

変更後

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		JR安倍川駅西口駅前広場整備事業	静岡市	直	1,300㎡	20	27	23	27	535	535	535		535
		寺田鎌田土地区画32号線整備事業	静岡市	直	250m	24	27	25	27	43	43	43		43
		みずほ四・五丁目1号線整備事業	静岡市	直	200m	24	27	25	27	43.5	43.5	43.5		43.5
		JR安倍川駅東西自由通路整備事業	静岡市	直	85m	24	27	24	27	598	598	598		598
		安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業	静岡市	直	21.5m	24	27	25	27	55	55	55		55
公園		丸子新田公園整備事業	静岡市	直	1,091㎡	23	25	1	25	134	134	134		134
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設(駐車場)		安倍川駅西口駐輪場整備事業	静岡市	直	630㎡	20	25	23	25	500	500	500		500
高質空間形成施設(歩行支援施設、障害者誘導施設等)		JR安倍川駅公衆トイレ整備事業	静岡市	直	99㎡	24	27	24	27	127	127	127		127
高次都市施設(人工地盤等)		JR安倍川駅連絡通路整備事業	静岡市	直	56㎡	24	27	24	27	71	71	71		71
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,106.5	2,106.5	2,106.5	0.0	2,106.5

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載 ※H24以降分を記載 ※H24以降分を記載

基幹事業②地域自主戦略交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		JR安倍川駅西口駅前広場整備事業	静岡市	直	1,300㎡	20	27	24	24	276	276	276		276
道路		寺田鎌田土地区画32号線整備事業	静岡市	直	250m	24	27	24	24	4	4	4		4
道路		みずほ四・五丁目1号線整備事業	静岡市	直	200m	24	27	24	24	3.5	3.5	3.5		3.5
道路														
合計										283.5	283.5	283.5	0.0	283.5

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載 ※H24以降分を記載 ※H24以降分を記載

基幹事業 総計(①+②)														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間	交付期間内事業期間	(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費		
合計								2,390	2,390	2,390	0	2,390		

※A=A'+A''

都市再生整備計画の区域

安倍川駅周辺地区(静岡県静岡市)	面積 200 ha	区域 みずほ、寺田、鎌田、丸子新田、東新田、丸子 上川原、手越原、広野、下川原
------------------	--------------	---

